

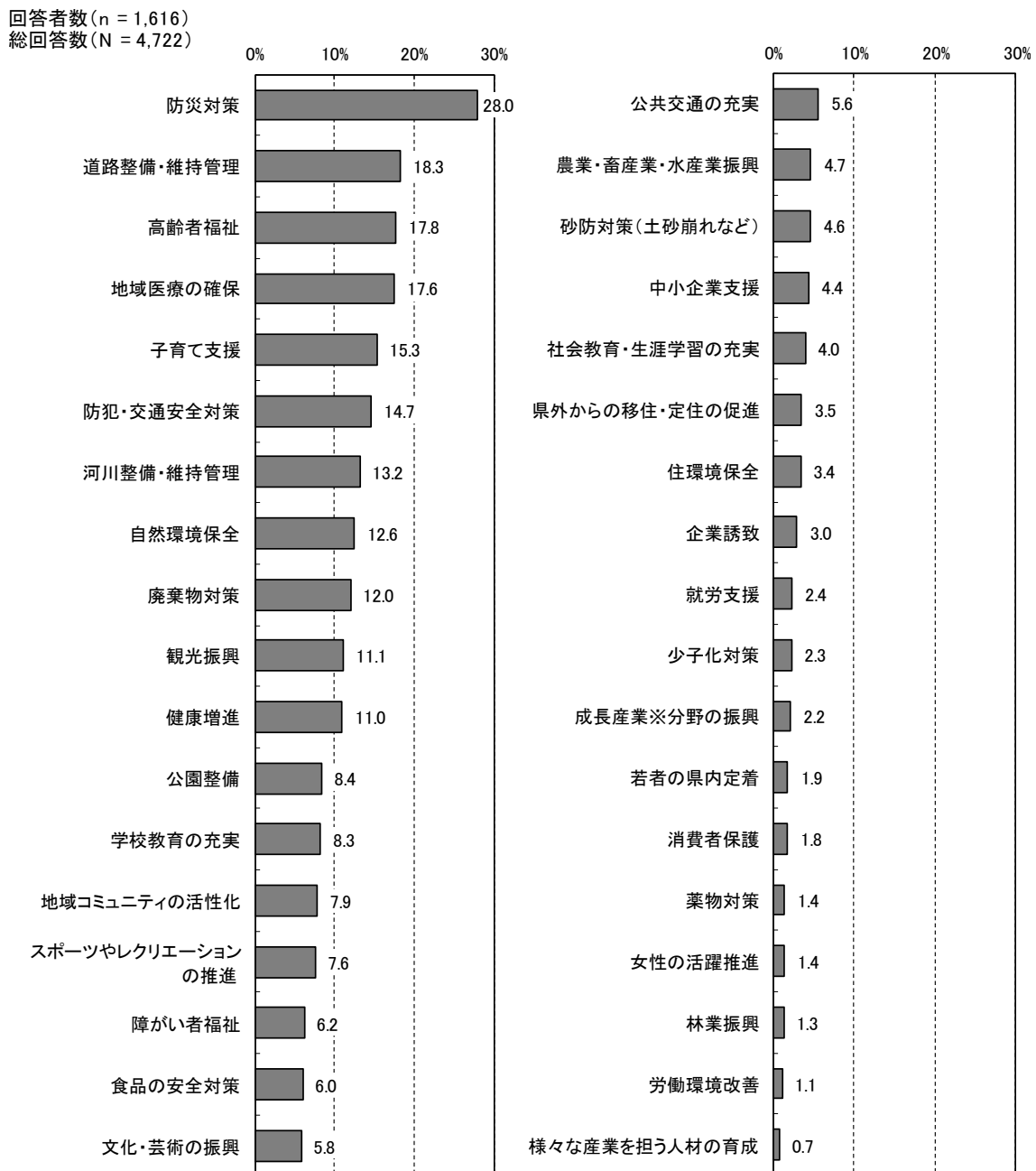
問10 県の実施策でよくやっていると思う分野、努力が足りないと思う分野

問10 あなたが、県の実施策についてよくやっていると思うのは、どの分野ですか。
また、努力が足りないと思うのは、どの分野ですか。（それぞれ5つまで）

【県の実施策でよくやっていると思う分野】

全体（図10-1）で見ると、「防災対策」が28.0%と最も高く、次いで「道路整備・維持管理」（18.3%）、「高齢者福祉」（17.8%）の順となっている。

図10-1 県の実施策でよくやっていると思う分野



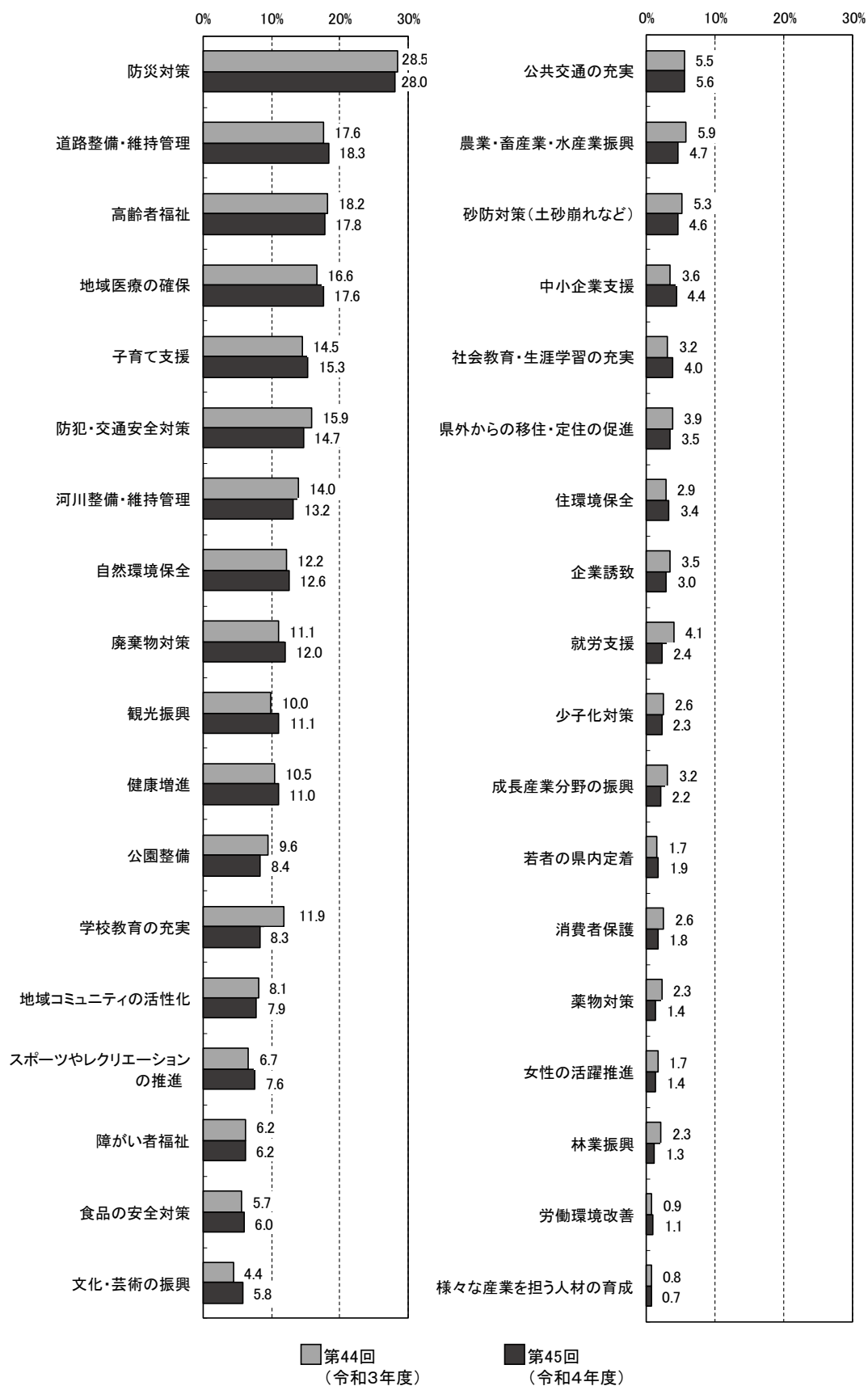
※ 成長産業: 岐阜県においては、航空宇宙、医療福祉機器、医薬品、食料品、次世代エネルギーを位置づけている。(令和4年度現在)

※ 本問における選択肢は、図表の構成上、以下のとおり略して表示しているものがある。

・住環境保全: 騒音・振動・大気・土壌対策などの住環境保全

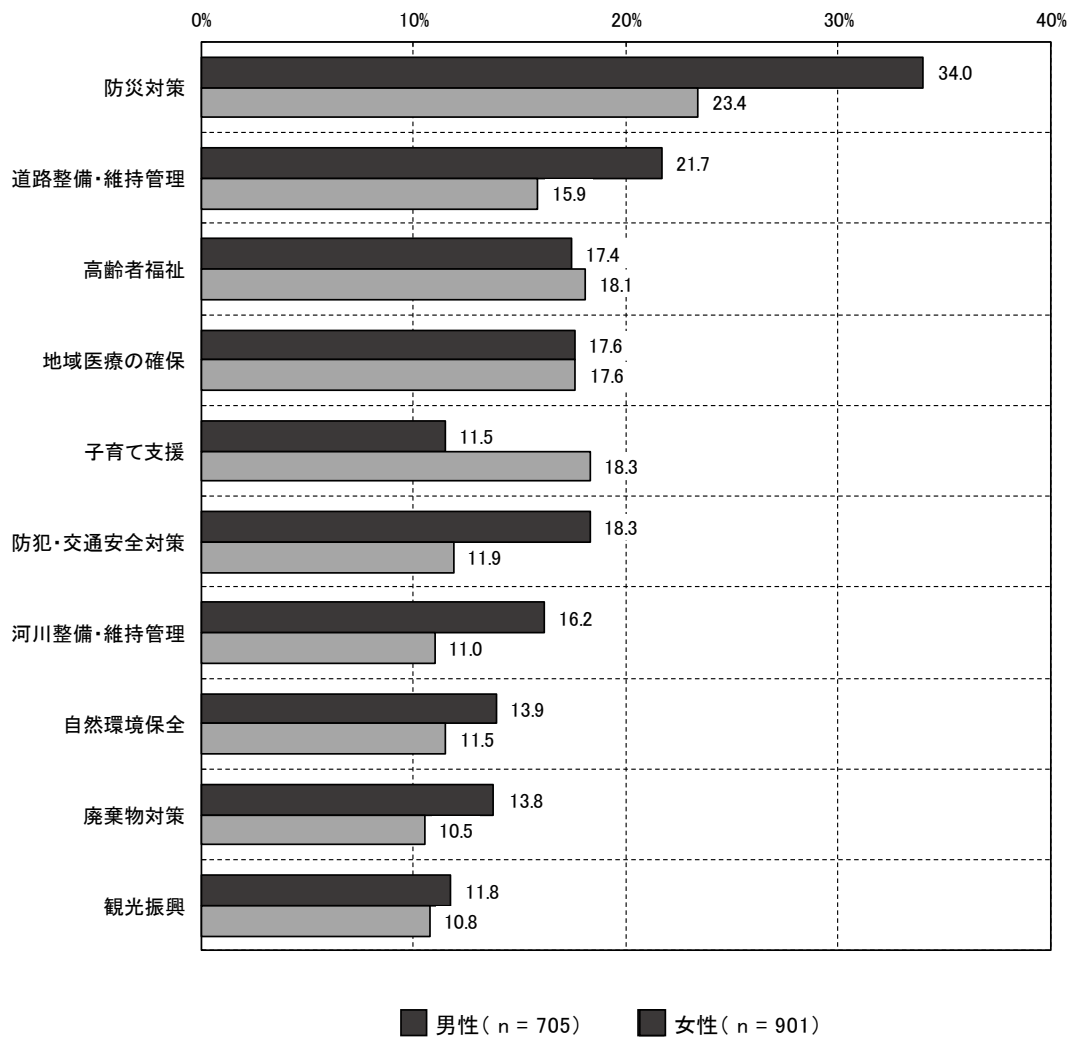
前回比較（図 10-2）で見ると、前回に続き「防災対策」が最も高くなっている。前回第3位の「道路整備・維持管理」は第2位に、前回第2位の「高齢者福祉」は第3位となっている。

図 10-2 【前回比較】 県の取組でよくやっていると思う分野



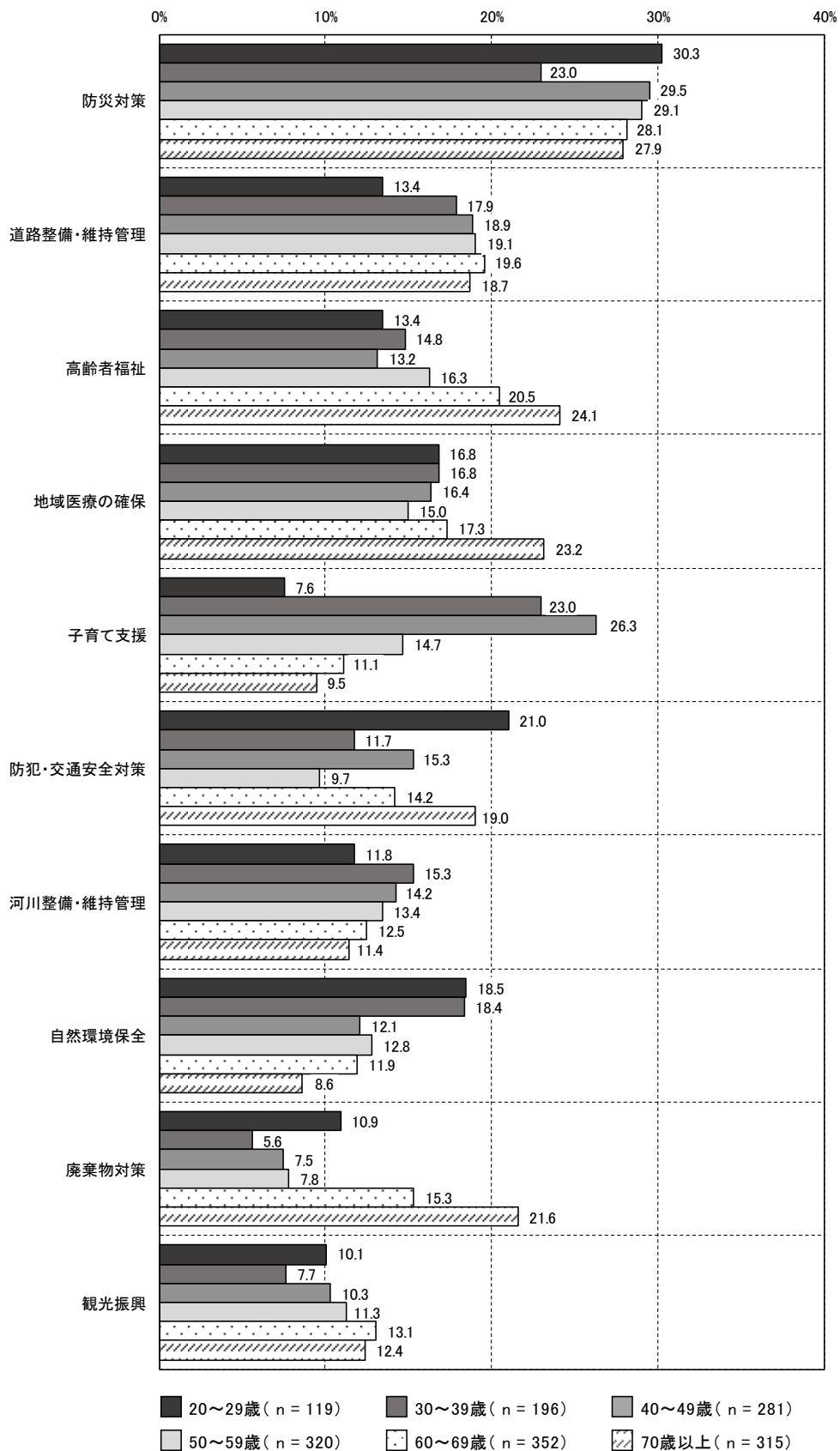
性別（図 10-3）で見ると、男女ともに「防災対策」が最も高く、次いで、男性では「道路整備・維持管理」が 21.7%、女性では「子育て支援」が 18.3%となっている。

図 10-3 【性別】 県の取組でよくやっていると思う分野(上位 10 施策)



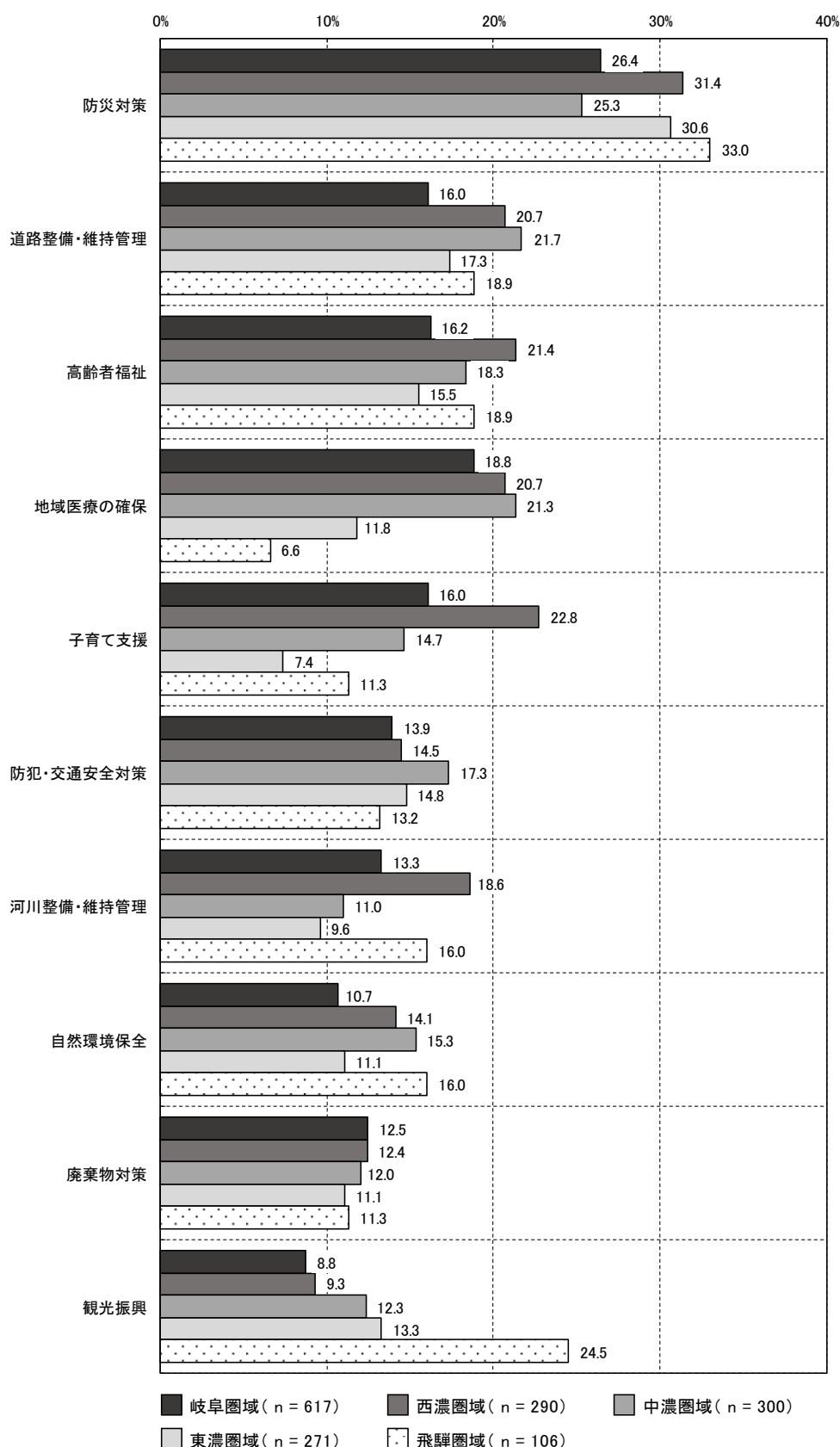
年代別（図 10-4）でみると、いずれの年代においても「防災対策」が最も高くなっている。（30 歳代では「子育て支援」と同率）

図 10-4 【年代別】 県の取組でよくやっていると思う分野（上位 10 施策）



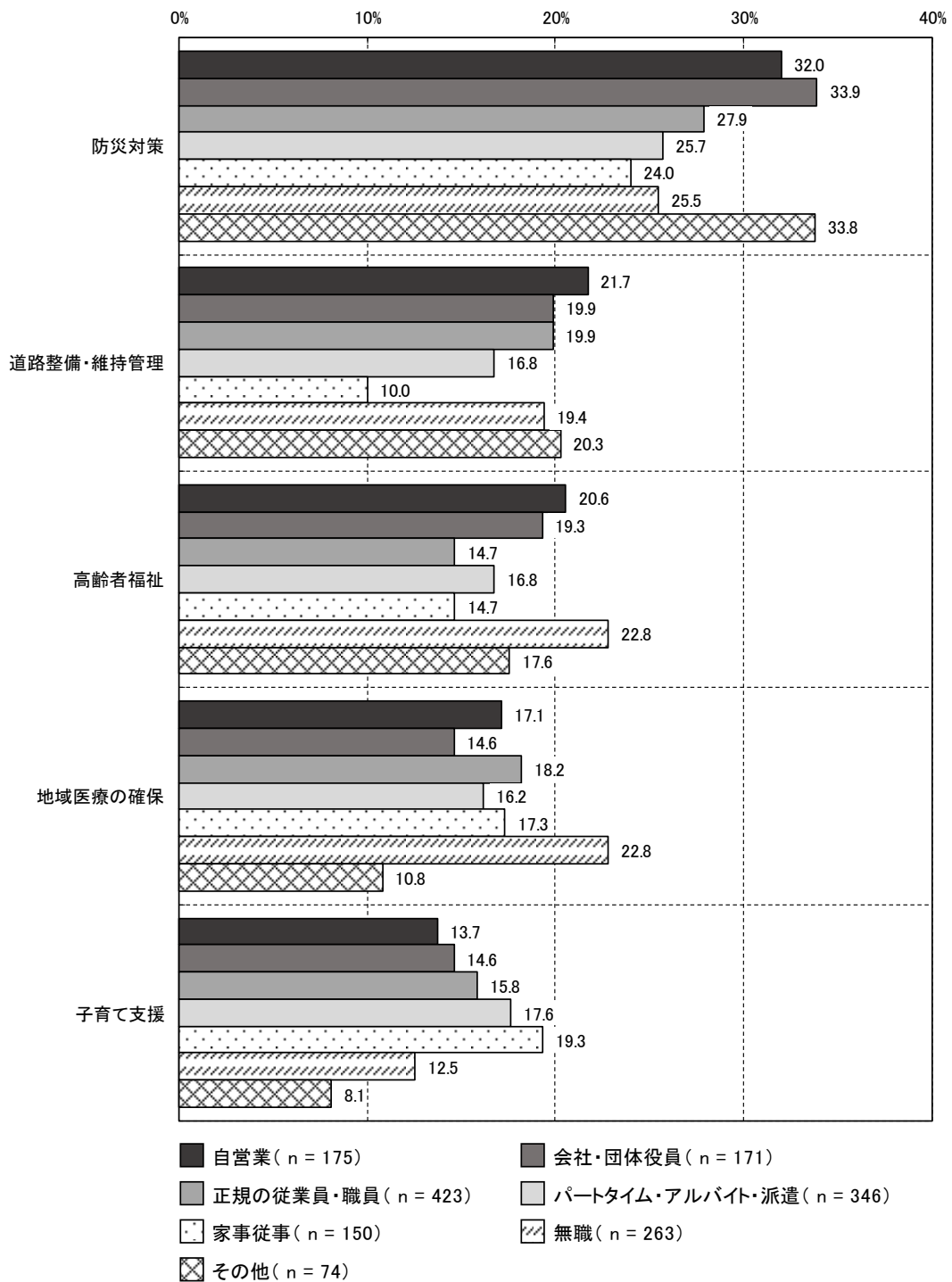
居住圏域別（図 10-5）で見ると、いずれの居住圏域においても「防災対策」が最も高くなっている。飛騨圏域では「観光振興」が24.5%と、他の圏域に比べて高くなっている。

図 10-5 【居住圏域別】 県の取組でよくやっていると思う分野(上位 10 施策)



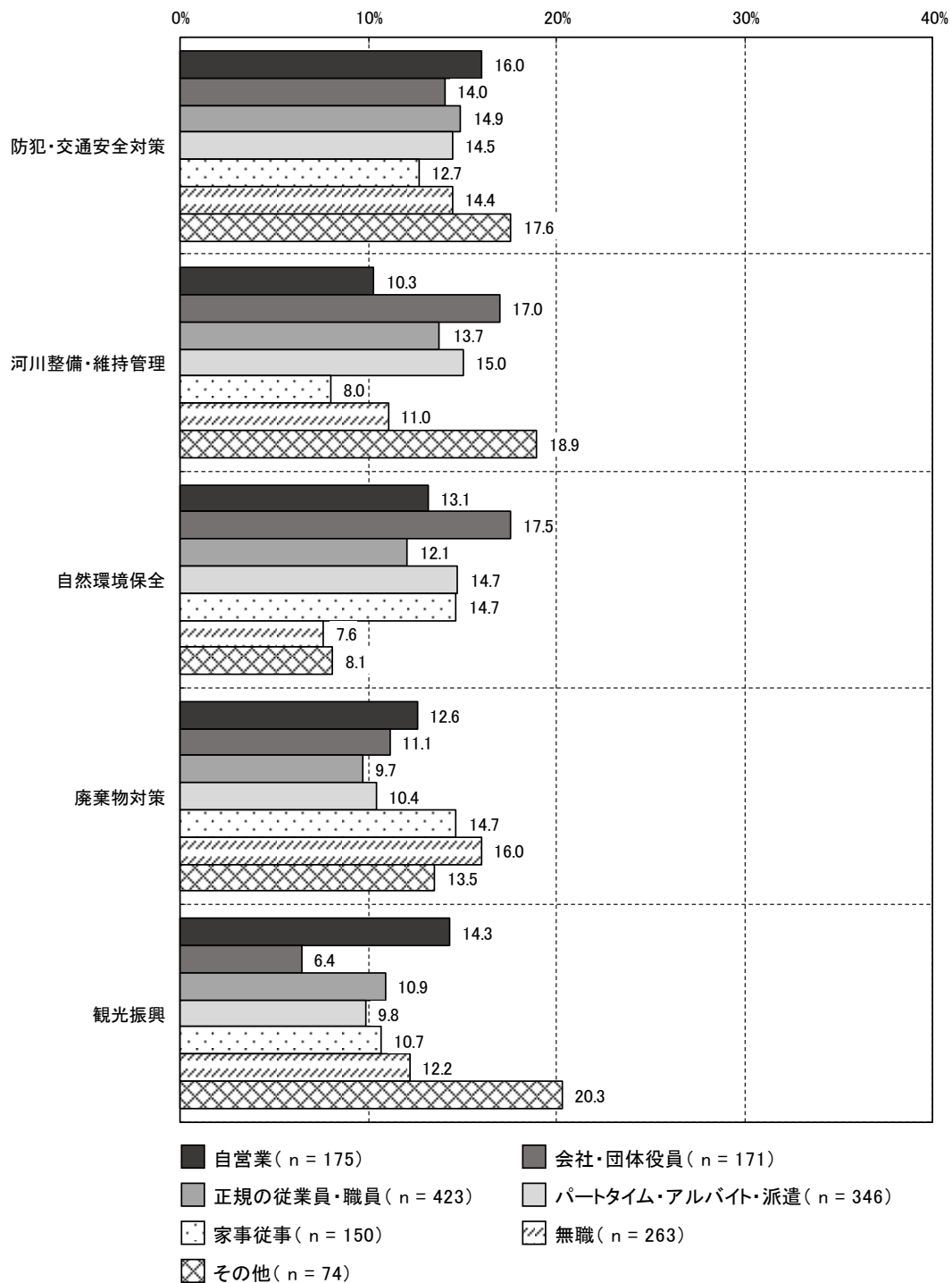
職業別（図 10-6）でみると、いずれの職業においても「防災対策」が最も高くなっている。

図 10-6 【職業別】 県の取組でよくやっていると思う分野（上位 10 施策）



※ その他には、自由業、学生を含む。

図 10-6 【職業別】 県の取組でよくやっていると思う分野(上位 10 施策) (続き)

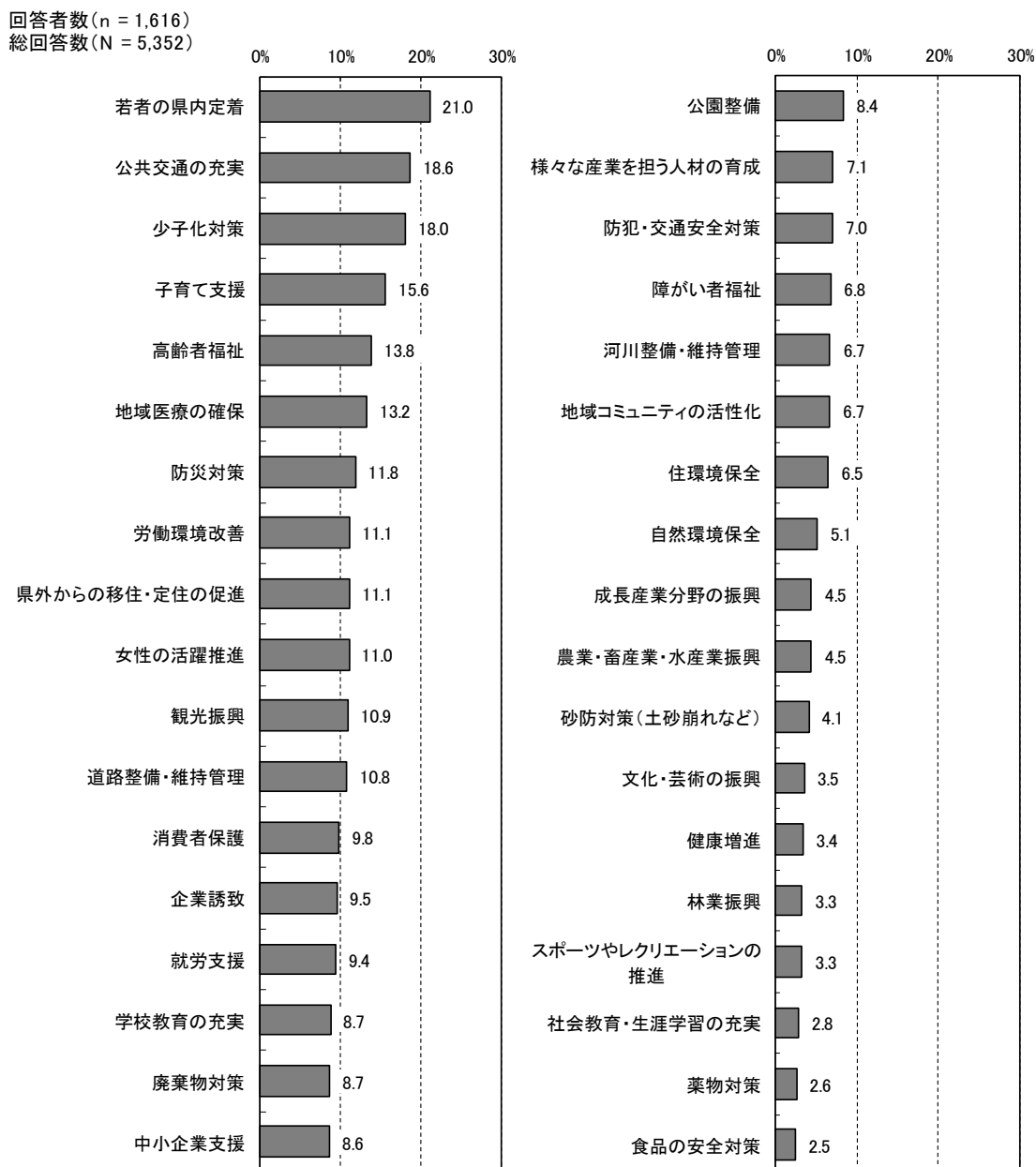


※ その他には、自由業、学生を含む。

【県の取組で努力が足りないと思う分野】

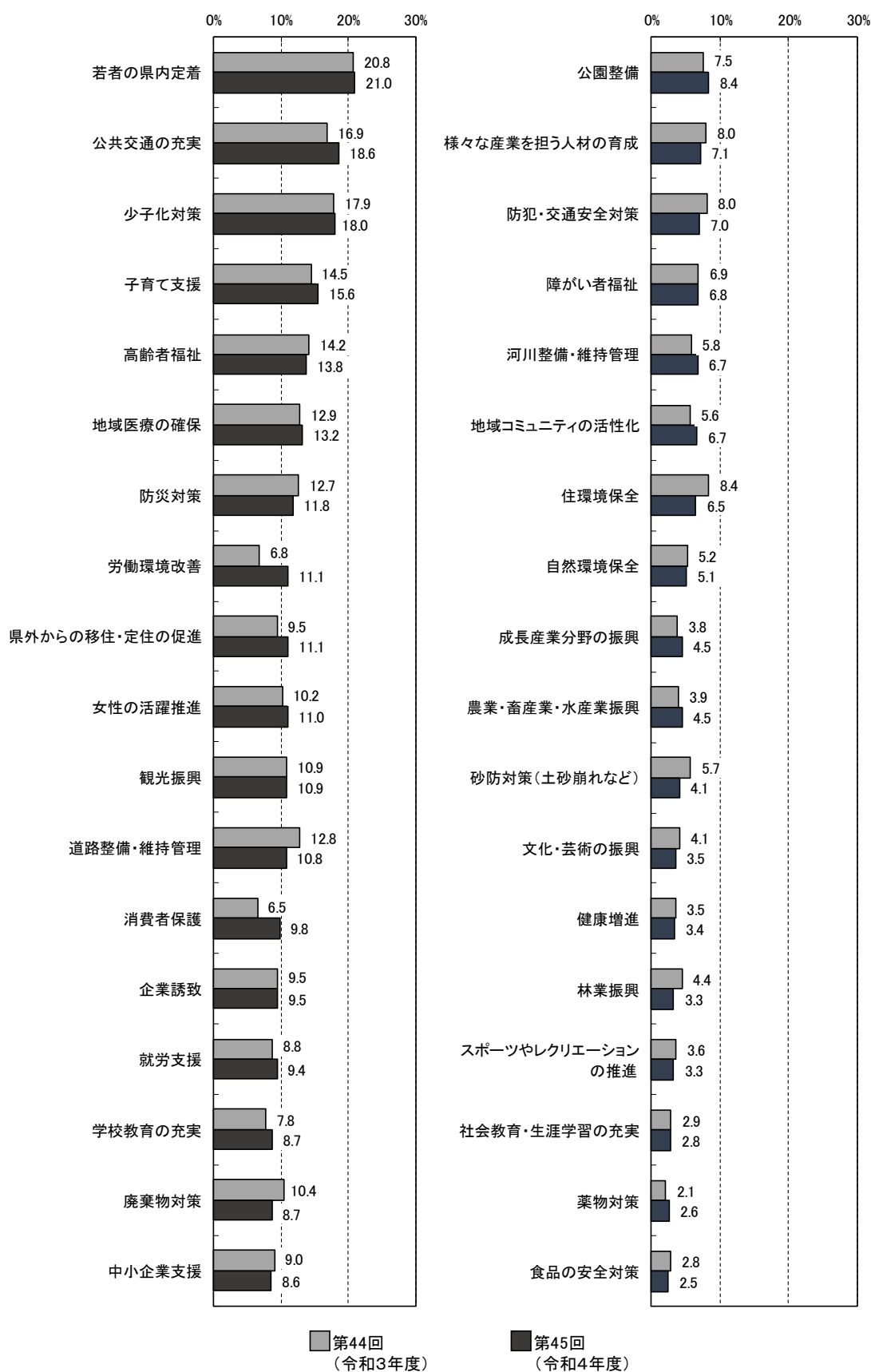
全体（図 10-2-1）で見ると、「若者の県内定着」が 21.0%と最も高く、次いで「公共交通の充実」（18.6%）、「少子化対策」（18.0%）の順となっている。

図 10-2-1 県の取組で努力が足りないと思う分野



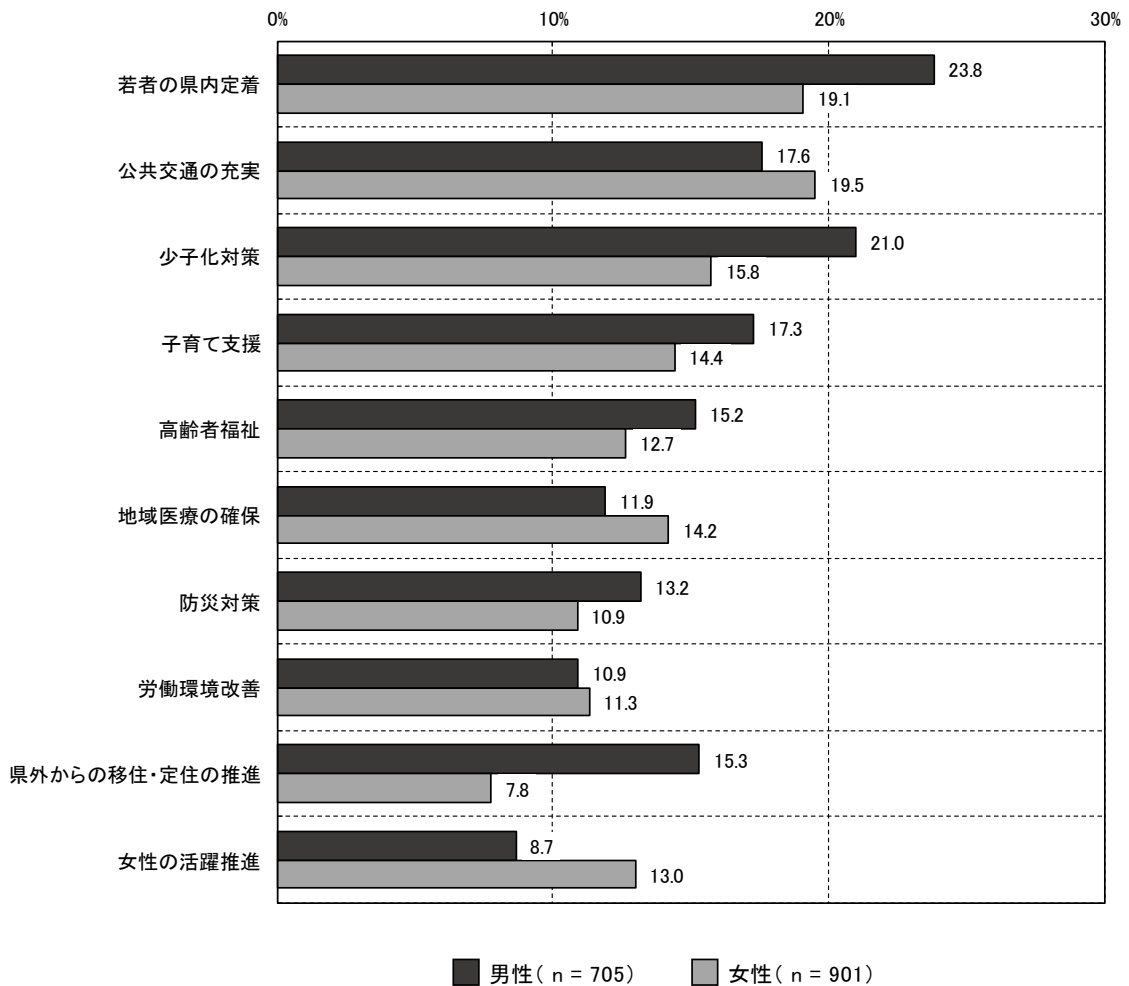
前回比較（図 10-2-2）で見ると、前回に続き「若者の県内定着」が最も高くなっている。前回第 3 位の「公共交通の充実」は第 2 位に、前回第 2 位の「少子化対策」は第 3 位となっている。

図 10-2-2 【前回比較】 県の取組で努力が足りないと思う分野



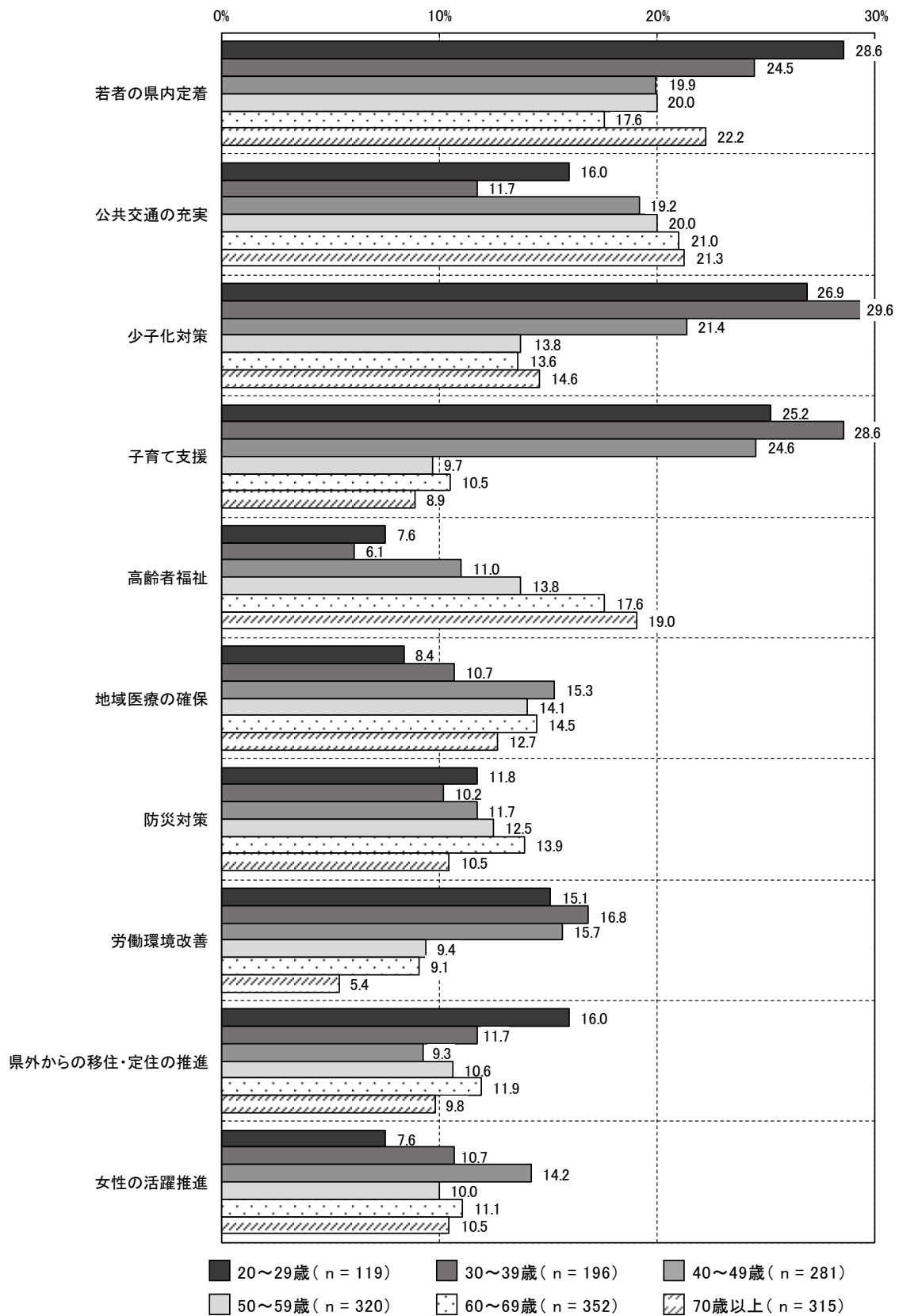
性別（図 10-2-3）で見ると、男性では「若者の県内定着」が 23.8%と最も高く、次いで「少子化対策」、「公共交通の充実」の順となっている。女性では「公共交通の充実」が 19.5%と最も高く、次いで「若者の県内定着」、「少子化対策」の順となっている。

図 10-2-3 【性別】 県の取組で努力が足りないと思う分野(上位 10 施策)



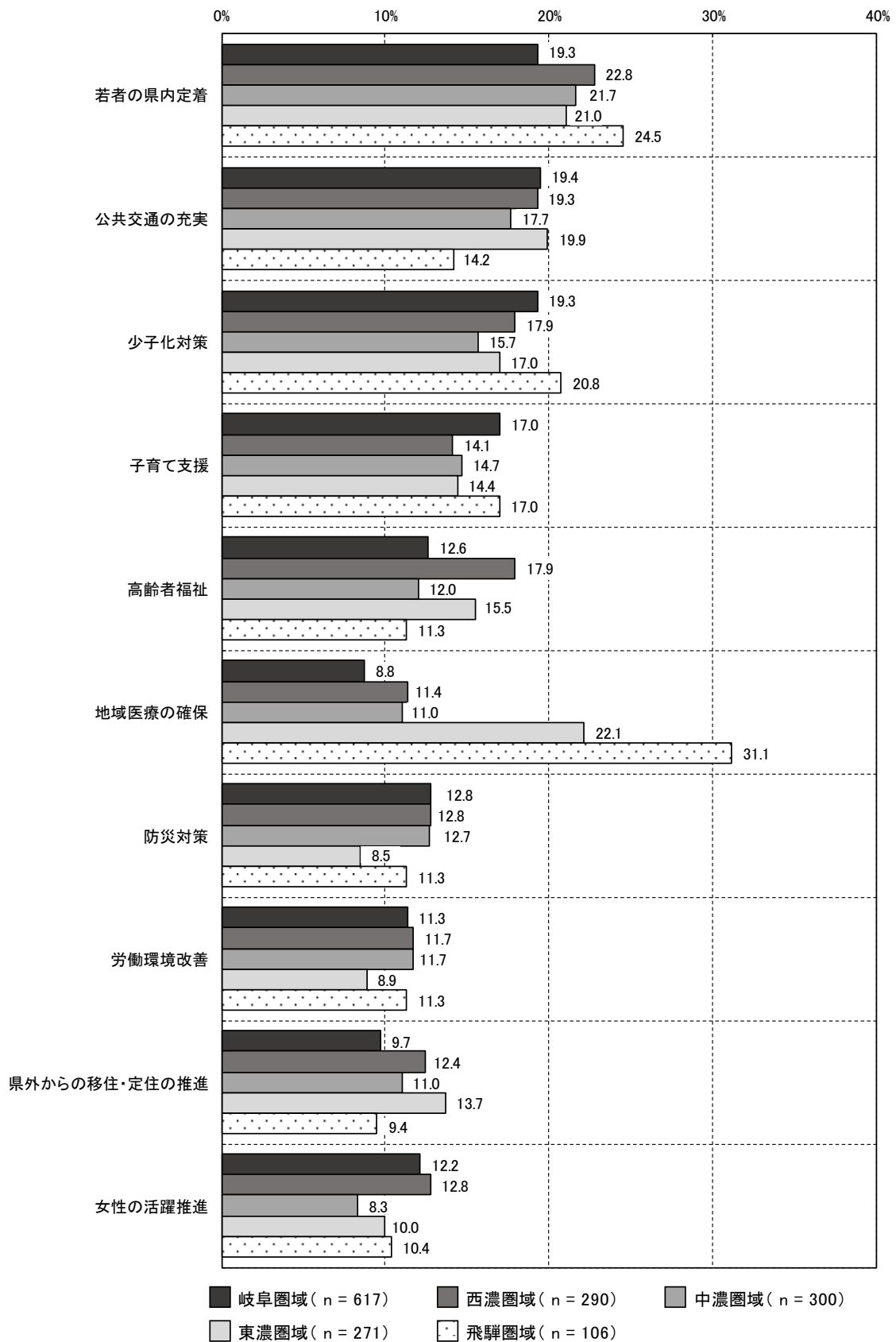
年代別（図 10-2-4）で見ると、20 歳代、50 歳代、70 歳以上では「若者の県内定着」、30 歳代は「少子化対策」、40 歳代では「子育て支援」、60 歳代「公共交通の充実」が最も高くなっている。（50 歳代では「公共交通の充実」と同率）

図 10-2-4 【年代別】 県の取組で努力が足りないと思う分野(上位 10 施策)



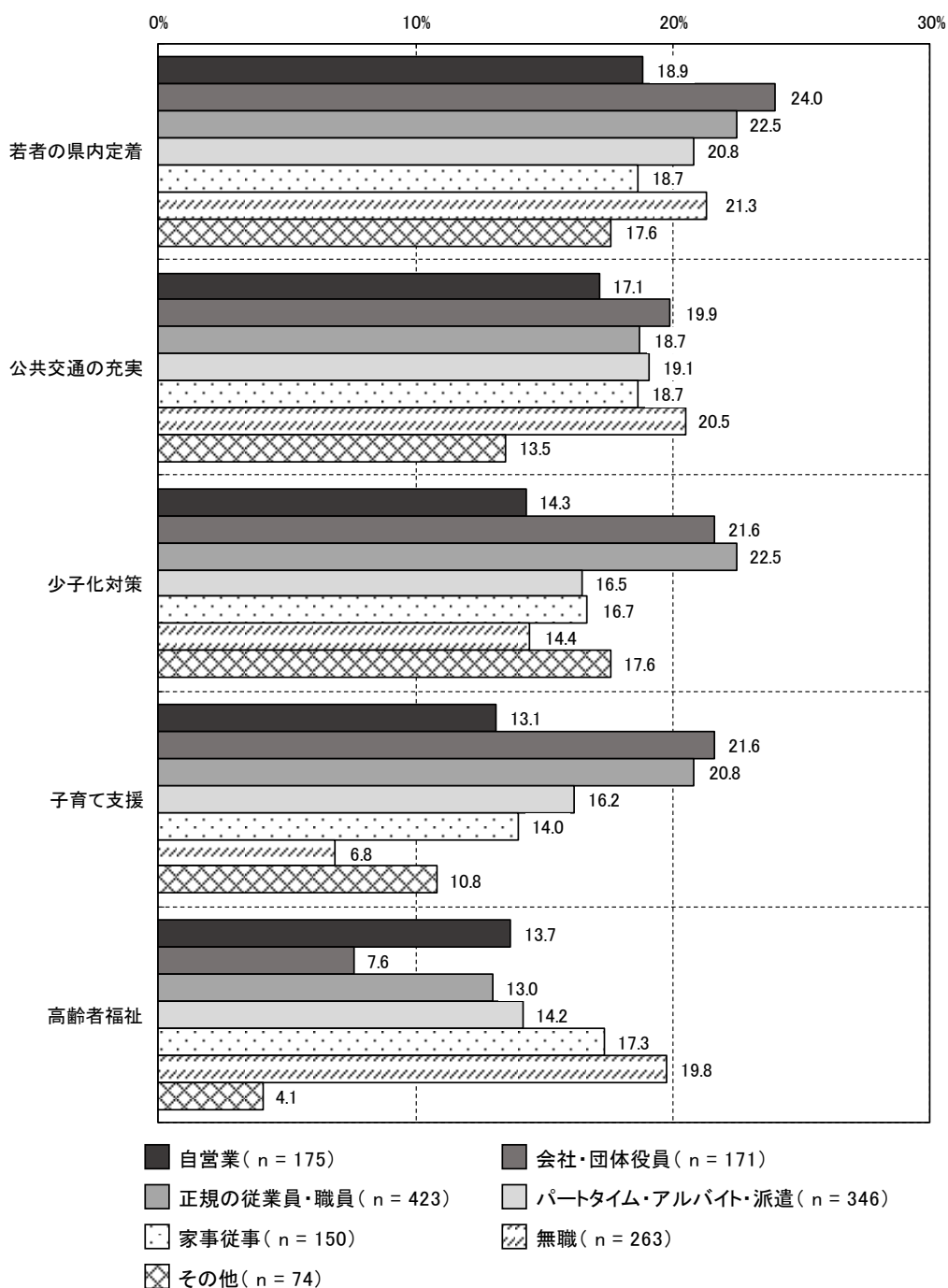
居住圏域別（図 10-2-5）でみると、岐阜圏域では「公共交通の充実」、西濃圏域、中濃圏域では「若者の県内定着」、東濃圏域、飛騨圏域では「地域医療の確保」が最も高くなっている。

図 10-2-5 【居住圏域別】 県の取組で努力が足りないと思う分野(上位 10 施策)



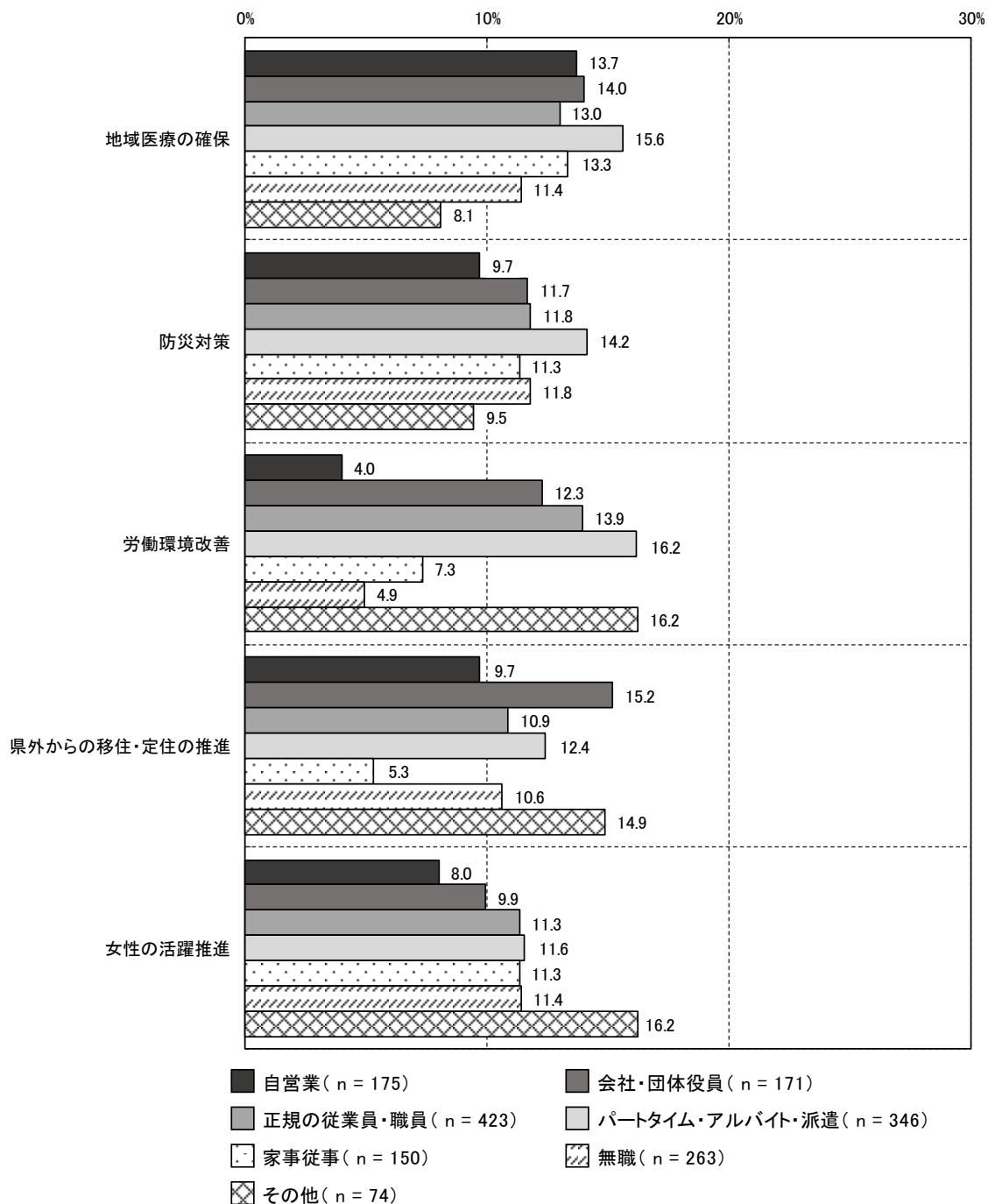
職業別（図 10-2-6）でみると、いずれの職業においても「若者の県内定着」が最も高くなっている。（正規の従業員・職員、その他では「少子化対策」、家事従事では「公共交通の充実」が同率）

図 10-2-6 【職業別】 県の取組で努力が足りないと思う分野(上位 10 施策)



※ その他には、自由業、学生を含む。

図 10-2-6 【職業別】 県の取組で努力が足りないと思う分野(上位 10 施策) (続き)



※ その他には、自由業、学生を含む。